

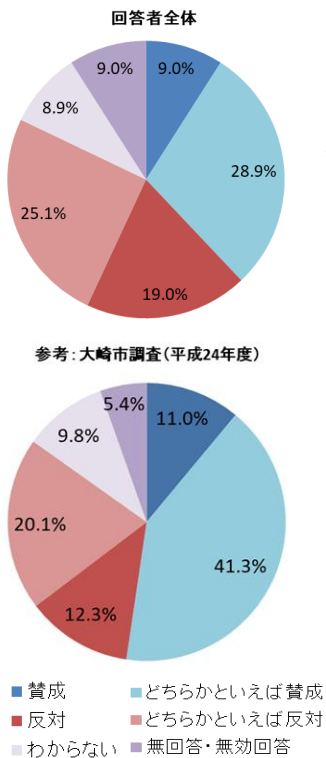


一人ひとりが一人の人間として大切にされる社会を目指します

男女共同参画社会 市民意識調査を実施しました

平成29年10月に、20歳以上の大崎市民3,000人の方を対象に、郵便による「男女共同参画社会に関する大崎市民意識調査」を実施しました。市民の皆様が日ごろからお考えになっていることやご意見等を集計した調査結果は、「第3次大崎市男女共同参画推進基本計画」の策定や、今後の施策展開に反映させるため活用していきます。

今号では、そのうち「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方をどう思うか、についての調査結果をご紹介します。平成24年度調査では、「賛成」「どちらかといえば賛成」の『賛成派』の割合が全体の半数超(52・3%)でしたが、今回調査では、「反対」「どちらかといえば反対」という『反対派』(44・1%)の割合が、『賛成派』(37・9%)の割合を上回りました。性別によって固定的に役割分担をさせる方がよいとする考え方(固定的性別役割分担意識)に、否定的な人が増えてきていると考えられます。



また、平成29年6月には、男女共同参画社会の大切な担い手である大崎市立中学校11校に在籍する中学3年生を対象にした意識調査も実施しております。調査結果については、大崎市のウェブサイトで公表中です。なお、今回の市民意識調査についても、今後ウェブサイトで公表する予定です。

いずれも、お問い合わせは男女共同参画推進室へ(裏面)

リレー コラム

図書室からまちづくり

～ 本を囲みながら、みんなで地域を考える場に ～

鳴子地域では「なるこ きょうどう としょしつ つくり隊！」という会が立ち上がりました。

鳴子総合支所が鳴子公民館と合築され、平成33年に併用開始の予定です。その中で図書室機能の充実が求められています。そこで、この会では『地域の住民で誰もが気軽に足を運べる図書室づくりをし、図書室を地域を考える場にしたい』と考えています。

まちづくりの会議と聞くと、なかなか女性は参加しづらいものですし、考えを持っていても発言しにくいものです。私にもそう感じる経験が多くありました。でも、本というツールを通せば、お年寄りや子供までが対象になるし、それこそ男女の壁を気にする必要もありません。本を読んだ感想のように、多種多様な意見が受け入れられると思うのです。

コミュニケーションの場づくりはもちろん、地域で豊かに暮らすために何が必要なのか、自分には何ができるのかを、本を囲みながら住民のみなさんと一緒に考えていきたいです。



なるこ きょうどう としょしつ つくり隊！ 副隊長 今野 茄奈子さん





地域で輝く女性たちを紹介します

名湯の宿 鳴子ホテル 女将

高 橋 弘 美 さ ん

—誰もが働きやすい職場環境づくりで、最高のおもてなしを—

「ホテル・旅館業は 365 日 24 時間体制の職場で、時間帯によって忙しい部門が異なりますが、これを逆手に取り、社員にはどの部門もこなせるオールラウンダーとなってもらっています。そうすることで、その人の希望や事情に合わせた柔軟な働き方につながっていきます。」と話すのは、鳴子ホテル女将の高橋弘美さんです。先ごろ宮城県や宮城県中小企業団体中央会などの主催で開催されたシンポジウムでも、職場環境づくりの事例発表をされました。



「私自身も、働き方を見直すよう心がけています。」

現在、約 150 人の社員は男女が半々、年齢が 40 歳代以下と 50 歳代以上の社員が半々で、親・子・孫の三世家族のような構成になっているそうです。「平成 18 年に女性社会保険労務士のアドバイスで産休や育休制度に対応した就業規則を整えましたが、これからは介護休暇の必要性も高まると思い、いち早く労使協定も取り交わしました。」と、社員それぞれのライフステージでの働き方に、制度の上からも支援を行っています。

「ホテル業はまだ封建的な体質が残る業種ではありますが、女性が認められるような会社にしていきたいですね。」と、にこやかに話す高橋さんは、社員一人ひとりが心身ともに健康で働ける職場をつくり、お客様に最高のおもてなしができるようにと、日々奮闘されています。

「ジェンダー・ハラスメント」って、なに？

最近よく耳にするようになった「ジェンダー」という言葉。

ジェンダー (gender) とは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指します。世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別のことで、表面の大崎市民意識調査結果でもご紹介した、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方もそのひとつです。ほかにも、「料理は女性がやるもの」「女の子だからピンク」って考えてしまう人いますよね？ 料理＝女性のシゴト、ピンク＝女の子、でも男性でも料理上手もいるのに？ ピンクが好きな男の子もいるのに？ この性別がジェンダーです。



では、「ジェンダー・ハラスメント」って？ たとえば、女のくせに大食いだ、女のくせに男言葉を使うな、男のくせに泣くな、男ならもっと堂々としろ、など本人の希望に関わらず、「男らしく」「女らしく」を理由としたいじめや嫌がらせのことです。「ジェンダー・ハラスメント」は、相手の人権を無視した不快感を与える行為であり、人権問題のひとつです。



「一人ひとりが一人の人間として大切にされる社会」の実現のため、男女共同参画社会の障壁となっている社会通念的な性別による圧力、「ジェンダー・ハラスメント」をなくすためには、一人ひとりがジェンダーに敏感に気づく視点が求められています。

おおさき男女共同参画推進ニュース『With』では、みなさんのご意見・感想・情報をお待ちしております。

大崎市民協働推進部まちづくり推進課 男女共同参画推進室

電話 23-2103 男女共同参画推進室専用電話 (以前の番号も使えます。23-5069)

Fax : 23-2427 E-mail : machi@city.osaki.miyagi.jp